

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月28日更新

事務事業名	生ごみ処理機器設置補助事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課
	基本事業	20	ごみの発生抑制			所属班	環境衛生班
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市生ごみ処理機器設置事業補助金交付要綱
	一般	4	2	1	11475		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	コンポスターは、事業者が売り込みに来てごみの減量化に有効だと判断から昭和60年度から開始した。平成3年度に電動式が出てきたので、家庭から排出される生ごみを減らすため開始した。生ごみ処理容器の購入助成 *購入限度額の1/2補助(上限あり)、電動式 1機につき30,000円を上限、コンポスター・EM容器 1台につき4,000円を上限、可燃ごみは平成18年度に事業系の処理料の単価が上がったことで、事業系のごみは減少しているが、人口が増加しているため一般家庭から排出されるごみは増加している。しかし、住民の意識の向上によりごみの減量化は進んでいると思われる。また、ダンボールコンポストの普及を図るため、24年度から補助事業として、本事業に統合する。
【業務の流れ】	補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、支払事務。申請とりまとめ、交付決定通知、支払事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)、役員費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	住民からは補助金額を引き上げて欲しいとの要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
生ごみ処理機の購入助成 *購入金額の1/2補助(上限あり) 電動式 1機につき30,000円を上限、コンポスター・EM容器 1台につき4,000円を上限。申請実績 電動生ごみ処理機16件、コンポスター 7件、EM容器 15件	生ごみ処理機の購入助成予定件数 電動式(20件)、コンポスター(10件)、EM容器(10件)、ダンボールコンポスト280個
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 助成件数	件 生ごみ減量化対策に伴うもので、生ごみ処理機器設置の申請見込み及びダンボールコンポストの補助金申請見込みと23年度実績から処理機器の若干の減を見込んだ減額
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位) ア: 世帯数 世帯
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
生ごみ処理容器を購入してもらい、生ごみの排出を減らしてもらう	(単位) ア: 生ごみ処理容器を購入し、助成した件数 件
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
生ごみ処理容器を購入し、生ごみの排出を減らしてもらうことから、成果指標を「生ごみ処理容器を購入し、助成した件数」とした。ただし、買い替え等もあることから、過去5年間の延べ件数とする。目標値については、23年度までの実績数に24年度予算計上している見込み件数(平成24年度よりダンボールコンポストも統合)を加えた「534件」とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
①活動指標	ア	件	60	52	50	28	350	350	350	350
	イ									
②対象指標	ア	世帯	20,276	20,400	20,600	21,104	20,800	21,000	21,000	21,000
	イ									
③成果指標	ア	件	206	251	239	217	534	836	1,126	1,431
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	千円	910	833	984	485	893	984	984	984
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	46	46	46
(B)人件費計	千円	0	0	0	0	46	46	46	46	
	人件費	人	4	6	4	5	7	7	7	7
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,905	1,640	2,014	1,030	2,541	2,632	2,632	2,632	

事務事業名	生ごみ処理機器設置補助事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 近年の実績を考慮し予算化しているが、平成23年度は生ごみ処理容器、コンポスターの購入者が見込みより少なかったため。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 平成23年度実績を考慮し、また、市ごみ減量計画で、ダンボールコンポストの普及啓発を強化する設定をしており、目標達成の見込みがある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 多くの世帯へ普及することで、ごみの減量化がもっと出来る。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ごみの減量化が目的のため、ごみの減量事業 (ダンボールコンポスト) と統合する。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ごみの減量化にご協力をいただくことが目的であり、処理機器の購入者に対して補助を行っているので事業費の削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため、正規職員以外では問題がある。また、適正な事務執行のための最低限な事務量と考えられるので削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市内の全世帯 (事業所を除く) を対象としているため公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成23年度は、電動生ごみ処理機 16件、コンポスター 7件、EM容器 15件の補助金を交付した。広報、ホームページ等に掲載し周知を図り、ごみ減量化に努めている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>重量のウエイトが高い生ごみの減量化は引き続き徹底させたいと考えており、本事業も継続して周知・啓発に努める</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>生ごみを減量化するための、市民に対する効果的な啓発のやり方が課題であり、市民からのアイデアを募る等行なっていく</p>																						